

平成 29 年 9 月 5 日

計算プログラム 修正点 (Ver.2.2.3 → Ver.2.3)

下記の修正を行いました。

● $\beta 1$ → $\beta 2$ ●

< 共通 >

1. 主たる居室またはその他居室の面積が著しく小さい場合にエラーが発生する問題を修正しました。

< 外皮 >

2. 暖房・冷房期平均日射熱取得率の小数点以下桁数を小数点以下 2 桁から 1 桁に修正しました。

< 給湯設備 >

3. 熱源機(給湯専用型)の種類において「電気ヒートポンプ給湯機」を選択した場合に、効率の入力において「M1 スタンダードに基づく JIS 相当効率を入力することにより省エネルギー効果を評価する」を選択し、数値を入力することが可能となりました。
4. 給湯設備・浴室等の有無において「給湯設備がある(浴室等がない)」を選択した場合に、ふろ機能の種類が選択できず、「給湯単機能」となる問題を修正しました。
5. 給湯の JIS 効率の小数点以下桁数を小数点以下 2 桁から 1 桁に修正しました。

< XML >

6. その他居室の床面積を 0m² とした XML ファイルを読み込んで編集した時に、エラーが発生する可能性がある問題を修正しました。

●β1 公開●

<共通>

1. BEI の計算において、浮動小数点誤差により実際の値よりも 0.01 大きくなる場合がある問題を修正しました。
2. 計算結果 (PDF) における項目名の誤りを修正しました。

<基本情報>

3. 居室の構成を追加し、その他居室および非居室の有無を選択できるようにしました。

<外皮>

4. 外気が経由する床下の面積の割合のエラーメッセージを修正しました。

<給湯設備>

5. 熱源機の種類において「給湯・温水暖房一体型」を選択し、熱源機(給湯・温水暖房一体型)の種類を「ガス潜熱回収型給湯温水暖房機」もしくは「石油潜熱回収型給湯温水暖房機」として、さらに効率の入力を「入力しない」とした場合に、潜熱回収型の機器効率ではなく、従来型の機器効率により計算される問題を修正しました。
- 6.
7. 英語表記を修正しました。

<太陽熱利用給湯設備>

8. 太陽熱温水器の集熱部総面積、集熱貯湯部総面積、有効集熱面積、ソーラーシステムの集熱器総面積、有効集熱面積の最小値を 0.5m² に変更しました。
9. 給湯設備・浴室等の有無において「給湯設備がない」を選択し、太陽熱利用給湯設備の採用において「採用する」とした場合のエラーメッセージを修正しました。

<コジェネレーション>

10. パラメータ入力画面のパラメータ名称を修正しました。

以 上